

授業概要

分野	学科目		1年後期		90分講義15回 (試験を含む)
専門分野	小児看護学方法論 I		30 時間	1 単位	
授業科目			講師		
小児の保育、主な症状の看護と小児特有の看護技術			専任教員(実務経験者)		
科目目標	1.小児が健康な生活を送るための保育の方法を理解する。 2.健康を障害された小児に必要な環境や看護の役割を理解する。 3.小児に特有の症状の看護や小児看護特有の技術を理解する。				
	回数	項目	内容		
科目内容	1	小児の成長・発達段階に応じた日常生活援助	1.小児の発達段階に応じた援助 1) 新生児 2) 乳児 3) 幼児 4) 学童 5) 思春期		
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7	主な症状と看護	2.主な症状のアセスメントと看護 1) 発熱のアセスメントと看護 2) 脱水のアセスメントと看護 3) 呼吸困難のアセスメントと看護 4) 痙攣のアセスメントと看護		
	8				
	9				
	10	健康問題/障害のある小児に必要な看護技術	1.コミュニケーション技術 2.インフォームドコンセント(アセント)のための技術 1) プレパレーション 3.フィジカルアセスメント 1) アセスメントの方法と注意点 2) バイタルサイン測定 3) 身体計測 4.治療に伴う小児看護技術 1) 点滴刺入における固定技術、輸液管理 2) 検体採取(血液検査、尿検査、便検査) 3) 腰椎穿刺時の固定技術		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15	試験	試験およびまとめ		
【授業形態】 講義、グループワーク、演習					
【評価方法】 筆記試験、出席状況、授業態度、レポート					
【テキスト】 小児看護学① 小児看護学② メヂカルフレンド社 ナーシンググラフィカ 小児看護技術 メディカ出版					